

眠りから目を覚ませ！

「あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい」(エペソ6:18)

今回は、「目を覚まして、祈る」ことについて学びます。

この「目を覚ましていて」という言葉は、肉体的な睡眠の事ではなく、霊の目を覚ます。霊的に眠っているから、目をさまして…祈りなさいという意味です。

私たちのクリスチャンライフは、主日礼拝や聖書研究会などの集会には出席するように努力しますが、日々の個人的な祈りに対してはどうも、少し怠慢になりがちです。

それは、神様から答えを得るまで、祈り抜くことを実行しているクリスチャンがごく僅かなことから分かります。聖書は、クリスチャンは眠っていてはいけないと、勧めています。

眠ってしまっていて祈らないでいると、神様の莫大な恵みを頂き損なうだけでなく、後で大きな損失に気づき、後悔することになると言っているのです。

聖書の学び

I、眠らされて、祈れないでいる

1、私たちはキリストによって、暗闇の中から光の子とされましたが、すぐには、霊の目は開かれていません。(エペソ5：8～10、Ⅱコリント4:3、4)

2、悪魔(サタン)は策略を巡らして、目を閉じさせるようにしています。

①この世の主権者・悪魔はクリスチャンが眠るように仕向けています。

イエス様は何と命じられていますか？

(エペソ5：14)

②悪魔は狡猾で、力強く、決して休まず、誘惑してきます。私たちはどうしたら良いのでしょうか？ (エペソ6：11、詩篇1：1)

3、私たちが目を覚まし、神の世界の現実を見て、祈るために何を持つ必要があるのでしょうか？（エペソ6：13）

Ⅱ、祈りの力を得るために

1、Ⅱ列王6:15～23を読みましょう。

①エリシャに見えていたものと、若い召使いが見ていたものの違いは何でしょうか？（Ⅱ列王6:17）

②若い者の目が開かれるようになるため、エリシャはどうしましたか？
（Ⅱ列王6:15～18）

③アラムの兵士たちが盲目になったり、目が開かれたりしたのは、エリシャがどうしたからでしょうか？（Ⅱ列王6:18～23）

2、私たちクリスチャンの無力で、力がない原因は何でしょうか
（ヤコブ4：2）

3、祈るために、私たちクリスチャンに足りないのは何だと思いますか
（エペソ6：18）